

とっとり退職者連合

速報第 20 号 2018 年 4 月 26 日

鳥取退職者連合

〒680-0847 鳥取市天神町 30-5

TEL (0857) 26-6605・FAX (0857) 26-6615

発行人・斎木兵治 編集人・山田敏明

東部地区協発

春の空の下交流を深める

～第 31 回親善グラウンドゴルフ大会開催～

4月17日（火）、レーク大樹（鳥取市）に70人（選手67人・スタッフ3人）が集い、「第31回親善グラウンドゴルフ大会」を開催した。

6人1チームでの団体戦には、8組織から11チームの参加があり、真剣な中ながら和気あいあいとゲームを楽しんだ。

※参加組織く申し込み順/略称（ ）の数字はチーム数＞

- ・鳥取県東部（2）
- ・JR西労組（1）
- ・退教協（1）
- ・情報労連（3）
- ・私鉄日ノ丸（1）
- ・JP労組（2）
- ・林退会（1）



－団体戦 成績表－

順位	チーム（組織）名	合計 打数	H1 計	2打 計
優勝	鳥取県職員東部地区退職者会B	284	1	27
準優勝	私鉄日ノ丸退協	286	1	29
第3位	情報労連A	288	1	20
第4位	情報労連B	301	2	14
第5位	情報労連C	303	0	23
第6位	鳥取県退職教職員協議会	306	1	22
第7位	JR西労組退職協	311	0	23
第8位	鳥取県職員東部地区退職者会A	316	2	16
第9位	JP労組退職者の会B	317	1	18
第10位	林退会鳥取支部	324	0	24
第11位	郵政退職者の会A	341	1	8

－個人戦 成績表－

順位	選手名	組織名	合計 打数	H1 計	2打 計
優勝	山内 武彦	鳥取県退職教職員協議会	38	1	7
準優勝	山川 武彦	私鉄日ノ丸退協	40	0	9
第3位	西川 薫	情報労連A	41	1	4
第4位	矢芝 文男	鳥取県職員東部地区退職者会	42	0	8
第5位	高藤 幸雄	鳥取県職員東部地区退職者会	43	1	5

ゲーム終了後、希望者（38人参加）による昼食懇親会をにぎやかに開催した。

あわせて、団体戦、個人戦の表彰式も行い、お互いの健闘を讃えあった。



春の鳥取砂丘一斉清掃に参加

4月15日（日）、前日までの激しい雨は止んだものの、冷たい風が吹きつけた中実施された「春の鳥取砂丘一斉清掃」に、東部地区協からも11人の会員とご家族にご参加いただいた。

ありがとうございました！！



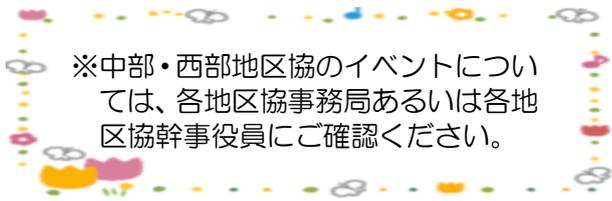
中部地区協発

お知らせ

西部地区協発

■平成30(2018)年度 グラウンドゴルフ大会■

- ①日 時 2018年5月21日(月)
8時30分受付・9時開会
・予備日 5月22日(火)
- ②場 所 お台場公園・多目的広場
(大栄道の駅西側)
北栄町由良宿 1458-16
- ③申込締切 5月14日(月)必着
申込先 平田義人事務局長まで
- ④会場準備
・大会実施の決定 (午前7時00分)現地
・幹事の集合 (午前7時30分)現地
- ⑤表彰 ・個人戦のみ 1位から5位
10位以降は5番飛びの飛賞
BB賞、BM賞
ホールインワン賞
参加賞
- ⑥その他 弁当は各産別対応とする



※中部・西部地区協のイベントについては、各地区協事務局あるいは各地区協幹事役員にご確認ください。

鳥取退職者連合発

金は自動車損害賠償責任保険(自賠責)の上限約3千万円を参考にし、財源は納税者1人当たり年間400円程度の市民税超過課税を検討している。どのようなケースを救済対象にするかについては新設の委員会が判定する。

対象となるのは「認知症と診断された者」とし、責任能力の有無を問わずに救済する方針。医療機関による2段階の検査を想定している。市は検査を受ける費用の一部を助成する。

同条例は、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けることを目指し、市や医療機関の役割を規定した。早期診断の啓発のほか、認知症の疑いがある場合に運転免許を自主返納するよう推進する。(若林幹夫)

■第13回グラウンドゴルフ大会■

- ①日 時 2018年5月22日(火)
9時30分受付・10時開会
・予備日 5月26日(土)
- ②場 所 日吉津村・海浜運動公園
- ③申込締切 5月15日(火)
- ④会場準備
・実行委員は当日9時00分現地集合
・中止の場合は7時30分幹事に連絡する
- ⑤表彰 ・団体戦 1位~3位
・個人戦 1位~5位
ホールインワン賞 ・参加賞
- ⑥参加費 1人500円
- ⑦その他 お弁当あり

■ブルーベリー狩り■

- ①日 時 2018年6月30日(土)
7時00分~
- ②場 所 こしきのブルーベリー農園
(南部町鶴田)※現地集合
- ③申込締切 6月15日(金)
*入場料無料、食べ放題
持ち帰りは1kgにつき1,000円です

認知症事故賠償 救済条例が成立

神戸市、給付型は全国初

認知症高齢者が事故を起こして賠償を求められた際に給付金を支給する救済制度を定めた神戸市の条例が28日、市会本会議で可決成立した。給付型の救済制度は全国初という。これまで医療や法律の専門家らでつくる有識者会議が内容について協議してきたが、4月以降、新たに設ける委員会で救済する対象者の検診や給付額設定などを検討する。2019年度中の制度運用を目指す。

成立したのは「市認知症の人によさしいまちづくり条例」。市によると、給付

前土居副会長より、退職者連合の政策に関する「参考資料」として、神戸新聞(2018.3.28)の新聞記事をご提供いただきました。ぜひご一読ください。

